

県民の安心の
拠り所となる
病院であること

K o h a r u b i y o r i
VOL. 72

こはるびより

愛媛県立中央病院広報誌「小春日和」



これまでも、これからも、
県民の安心の拠り所となる病院を目指して



Index

- P1 表紙
- P2 がん治療センター
～一人ひとりに寄り添う、安心のがん医療を目指して～
- P3 診療科紹介「放射線科」
- P4 ドクターズカルテ、研修医紹介
- P5 東洋医学公開講座のご案内
医療安全管理部だより No.63
転入・転出医師（2026.6.1～2026.8.31）
- P6-7 愛媛県立中央病院のご紹介
- P8 連携医療機関紹介 ～第43回～

ご自由にお持ち帰り下さい

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地
TEL:089-947-1111 2026年8月31日発行



愛媛県立中央病院



がん治療センター

～ 一人ひとりに寄り添う、安心のがん医療を目指して ～

愛媛県立中央病院がん治療センターでは、患者さん一人ひとりに最適ながん医療を提供できるよう、診断から治療、療養生活の支援まで、多職種が連携して取り組んでいます。

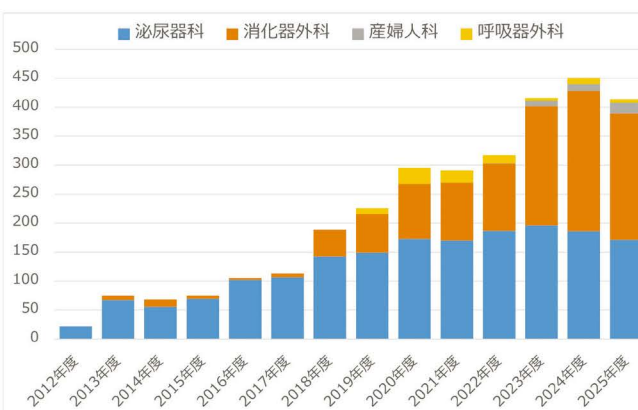
■ 体への負担が少ない「ロボット支援手術」

近年、体への負担が少ないロボット支援手術が広く普及しています。高精度な操作により、合併症の抑制や機能温存、術後の痛み軽減、早期回復が期待できるため、多くの患者さんに選ばれる治療となっています。

当院でも各診療科でいち早く導入を開始し、安全で質の高い医療の提供に取り組んでいます。



▲手術支援ロボット（ダヴィンチ）



▲ロボット支援手術の件数

当院ではロボット支援（ダヴィンチ）による手術をいち早く取り入れており、年々件数が増えています

■ 仕事や家庭と両立できる「外来化学療法室」

通院しながら治療を受けられる外来化学療法室も充実しています。明るく落ち着いた環境の中で、医師、看護師、薬剤師が連携し、副作用への対応や生活上の相談にもきめ細かく対応しています。治療を続けながら仕事や家庭生活との両立を目指す患者さんが増えており、それぞれの生活に寄り添った支援を心掛けています。



▲外来化学療法室

ご自宅で生活をしながら、安全、安心に治療を受けていただける環境を整えています



■ 多職種で最適な治療を探る「カンサーボード」

当院では定期的に「カンサーボード」を開催しています。これは、外科、内科、放射線科、病理診断科の医師をはじめ、看護師や薬剤師、医療ソーシャルワーカーなどさまざまな専門職が集まり、一人ひとりの患者さんにとって最も適した治療方針を話し合うカンファレンスです。複数の専門家が知識と経験を持ち寄ることで、より質の高い医療の提供につながっています。



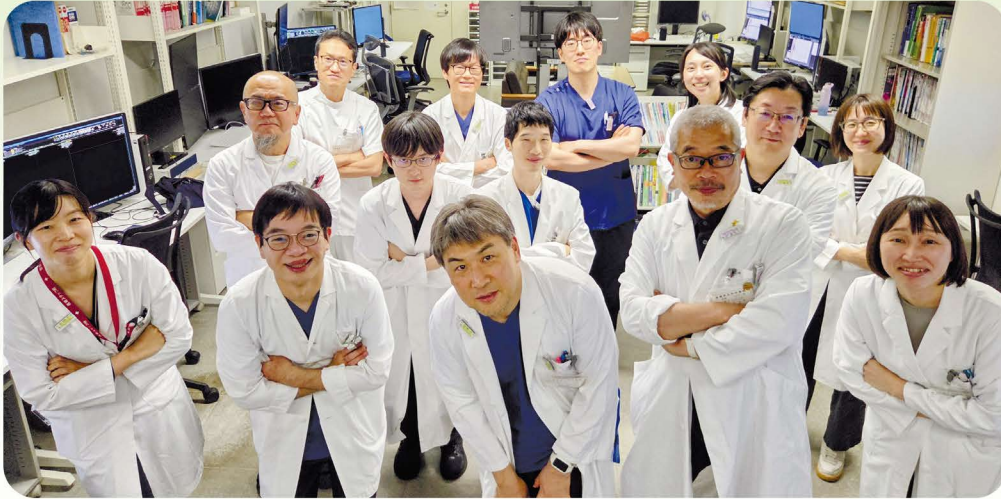
▲カンサーボードの様子

多職種が集まり、一人ひとりに最適な治療方針を多角的に検討しています

■ 地域のがん診療の中心として

がん医療は日々進歩しています。当センターでは最新の医療技術を取り入れるとともに、患者さんやご家族が安心して治療を受けられる環境づくりを大切にしています。これからも地域のがん診療の中心として、多職種が力を合わせ、皆さまに信頼されるがん医療を提供してまいります。

診療科紹介 放射線科



私たちはその名前の通り、放射線をはじめ磁気や超音波などを用いた画像診断や画像下治療、放射線治療などを主な業務としています。豊富な経験と知識に基づき、各診療科の先生と連携をとりながら、様々な高度医療機器や技術を駆使して当院の診療を診断・治療の両面から強力にバックアップし、患者さんのケアをしっかりとサポートします。

●画像診断

当院ではX線検査、透視検査、乳腺マンモグラフィ、CT、MRI、核医学検査（シンチグラフィ・PET）など様々な画像検査を行っています。撮影された画像は私たち放射線診断専門医が詳しく読影し、画像診断レポートとして各診療科へ報告することで、信頼性の高い診療を支えています。また、安心安全で精度の高い検査が実施されるよう、画像検査業務の管理も行っています。

●画像下治療（インターベンショナルラジオロジー：IVR）

X線やCT、超音波などの画像で体の中をリアルタイムに観察しながら、カテーテルや針などを使って標的となる病気を局所的に治療します。体を切り開くことなく治療ができるため、患者さんの体への負担が圧倒的に少なく、処置後の傷もほとんど残りません。体の中の止血や膿の排出、癌の局所治療、血管病変の拡張術など幅広い病気に対応し、事故などに対する救急救命治療も積極的に行っています。

●放射線治療

強いエネルギーを持つ放射線を、正確にコントロールしながら患部に集中的に当てることでがん治療を行います。こちらも患者さんの体への負担が少ない治療法であり、経験豊富な放射線治療専門医が担当します。臓器温存を目指すピンポイント治療から、化学療法やIVRの併用による進行がんの治療など、病状にあわせきめ細やかな治療を行います。

●核医学治療

放射線を出す特殊な薬剤を体内に注射することで、がんを治療する方法であり、現在は前立腺がんや稀少がんである神経内分泌腫瘍に対し行われています。こちらは近年新しく始まった治療法で、当科では県内でもいち早く導入・実施しています。薬剤はがん細胞に選択的に取り込まれるため、治療効果が高いだけでなく、他の臓器への影響が少なく、患者さんの身体的負担も軽い治療法です。



▲読影室で読影をしている様子



▲血管造影室でIVRをしている様子

我々放射線科は普段患者さんと直接顔を合わせることが少ない診療科ですが、これからもより良い診断・治療に貢献できるようスタッフ一同日々努めてまいります。

2026年4月より呼吸器内科で勤務しております、星島純子と申します。

愛媛県出身で、川崎医科大学を卒業しました。内科専門医プログラムの連携施設として、1年間こちらで研修させていただくことになりました。高校卒業以来久しぶりに松山で生活できることを、とてもうれしく思っています。

日々の診療では、患者さん一人ひとりのお話を大切に、安心して治療を受けていただけるよう心掛けています。まだまだ勉強の毎日ですが、多くの経験を積み、地域医療に貢献できるよう努力してまいります。

休日はランニングをしたり、お菓子作りをしたりしてリフレッシュしています。旅行も好きで、自然の中で過ごす時間が良い気分転換になっています。

これから1年間、どうぞよろしくをお願いいたします。



▲ランニングをしながら季節の花を見つけるのが楽しみです



▲休日は旅行でリフレッシュ！海の中の景色に感動しました

当院の研修医を紹介します

1 年次研修医 やまもと こうき 晃輝医師

Resident



自己紹介

みなさん、こんにちは。4月から研修医としてお世話になっている山本晃輝です。出身は鳥取県です。小学校1年生からバスケットを始め、中学校1年生から国体選手としてプレーをしていました。高校はバスケット名門校の福岡大学附属大濠高校に進学しました。その後、東京で浪人し、栃木県の獨協医科大学に進学・卒業しました。

なぜ愛媛県立中央病院へ？

初期研修2年ということで行ったことのない新しい地で学んでみたいと思ったのがきっかけです。また県病院の先輩の出身大学が多様なことも魅力の1つでした。

普段はどうして過ごしてるの？

研修医仲間と仕事終わりや休日にご飯に行ったりリフレッシュしています。休日は家でゆっくりすることが多いですが、最近は土曜夜市にいたり、週末は同期と一緒に手技の勉強をしたりして過ごしています。



工作中的の様子▶



▲同期とのひと時（一番右側）

令和8年度 東洋医学公開講座のご案内

【日程と内容】

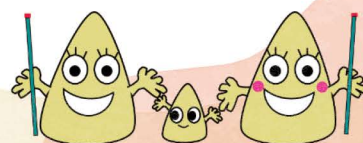
	開催日	内 容
第54回	令和8年 9月 7日(月) 13:30~14:30	「東洋医学と目」
第55回	令和8年 11月 18日(水) 13:30~14:30	「お灸のすえ方」
第56回	令和9年 1月 21日(木) 13:30~14:30	「東洋医学と食べる」

【会 場】愛媛県立中央病院 管理棟1階 講堂

【対 象】県民の方々（定員 50 名）

【申込受付】鍼灸治療室受付にて電話事前申込

参加費
無料



鍼灸治療室マスコット

〈お問い合わせ先〉 愛媛県立中央病院 鍼灸治療室 ☎089-947-1111(代表)
〒790-0024 松山市春日町 83 (管理棟 1 階)

No.63

医療安全管理部だより

みんなで守る、お互いを守る！病院に病原体を持ち込まない「標準予防策」

病院には、病気や治療によって抵抗力が下がっている患者さんがたくさん入院・通院しています。院内へ病原体（細菌やウイルス）が持ち込まれるのを防ぐためには、医療従事者だけでなく、患者さんご自身やご家族、面会に来られる皆様の協力が欠かせません。

そこで基本となるのが「**標準予防策(スタンダード・プリコーション)**」という考え方です。これは「感染症の有無に関わらず、すべての人の血液、体液、分泌物、排泄物などは感染の原因になり得る」とみなして、常に予防行動をとる世界共通のルールです。

皆様に普段から心がけていただきたい、院内感染を防ぐための3つの基本行動です。

1. 手指衛生（最も重要な対策）

病原体の多くは「手」を介して広がっていきます。病院の入り口、病室への出入りの際、トイレの後などに手洗いやアルコール消毒を行いましょう。

2. 咳エチケット

呼吸器からの飛沫（しぶき）による感染を防ぎます。咳やくしゃみがある場合には必ずマスクを着用しましょう。マスクがない時に咳やくしゃみが出る場合は、手ではなく袖やティッシュで口と鼻を覆います。

3. 体調不良時の面会制限

病原体を外から持ち込まないための水際対策です。発熱や風邪症状、下痢などの症状があるときは、患者さんへの面会は、症状が治まるまでお控えください。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



転入・転出医師 (2026.6.1~2026.8.31)

▶ 転入

所属	氏名	専門
呼吸器内科	近藤 晴香	呼吸器疾患全般
眼科	中城 珠里	眼科一般

▶ 転出

所属	氏名
呼吸器内科	能津 昌平
血液内科	板楠 今日子
放射線科	東 航平
眼科	近藤 元史

愛媛県立中央病院 のご紹介

※表記のないところは 2025 年度集計

医師・歯科医師数



288 人

(正規・臨時・パート・嘱託職員を含む)
※2026 年 4 月 1 日現在

看護師数



801 人

(正規職員のみ)
※2026 年 3 月 31 日現在

専門・認定看護師数

25 人

※2026 年 3 月 31 日現在

病床数



827 床

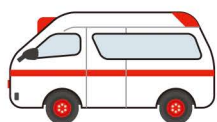
※許可病床数

救急受診者数

5,332 人

※3次救急 等

救急車での搬送件数



3,645 件

※3次救急 等

入院延患者数

184,230 人

新入院患者数

16,398 人

1 日平均患者数

44.9 人

外来延患者数

308,830 人

1 日平均患者数

1,270.9 人

紹介患者数 (初診のみ)

16,322 人

紹介率

79.9 %

逆紹介率

127.6 %

平均在院日数

10.7 日

ドクターヘリ出動件数

350 件



年間手術件数

8,368 件

※手術室実施・算定分

外来化学療法実施件数

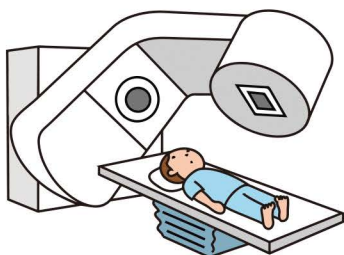
10,773件

PET-CT 検査件数

2,752件

放射線治療件数

7,937件



ロボット支援手術件数

406件

※実施件数



手術支援ロボット

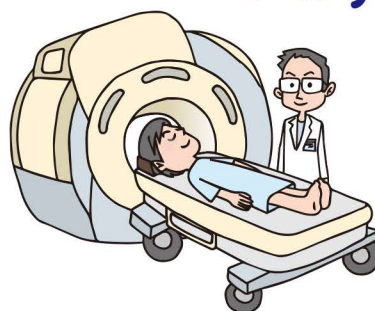
分娩数

744件



MRI 検査件数

10,803件



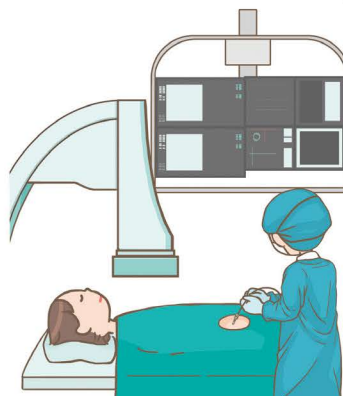
内視鏡検査件数

8,703件



血管・心臓カテーテル検査総件数

2,503件



リハビリテーション実施患者数

4,095人

連携医療機関紹介 ～第43回～

つむぎ内科クリニック

- 所在地 松山市空港通4丁目7番4号
- 院長 上田 怜 ■TEL 089-908-8620
- 診療科目 内科・血液内科
- 外来診療時間 休診日 水曜・土曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	×	○	○	×	○
14:30～18:30	○	○	×	○	○	×	○

※臨時休診はHPの「お知らせ欄」にて告知

【医療機関の概要】松山市空港通りで 2026 年 4 月に開院した内科・血液内科のクリニックです。旧ささき内科クリニックの跡地であり、前院長・佐々木先生が大切にされてきた「地域に根ざした温かい医院」の想いを受け継ぎ、日々の診療にあたっています。

【医療機関の特徴】風邪や生活習慣病などの一般内科診療に加え、健康診断の実施や、他院で行った健康診断での異常の相談、また貧血などを含めた血液内科の専門診療にも対応しています。医療は、病気だけでなくその方の生活や想いにも向き合うものです。「その方にとって何が最善か」をともに考える診療を大切にしています。これからも丁寧な診療を心がけ、地域の皆さまの健康を支えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



ひなたハートクリニック

- 所在地 松山市井門町191番地1 MIRAI 2F
- 院長 藤井 昭
- TEL 089-907-0068 ■FAX 089-907-0069
- 診療内容 内科・循環器内科・訪問診療

【医療機関の概要】ひなたハートクリニックは、心不全ケアをはじめとした循環器診療を強みとし、24 時間 365 日体制で訪問診療を行っています。松山市を中心に幅広いエリアへ対応し、地域のかかりつけ医として、患者さん一人ひとりとの対話を大切にしながら、安心してご自宅で療養を続けられるようサポートしています。

【医療機関の特徴】当院の訪問診療は、お看取りを目的とするのではなく、患者さんが住み慣れた場所で、自分らしく、いつもの生活を安心して送れるよう、一人ひとりの思いや暮らしに寄り添った医療の提供を心がけています。私は愛媛大学病院で循環器内科医として診療に携わった後、大阪で在宅循環器医療に従事し、多くの患者さんやご家族と関わってまいりました。その中で、心不全などの循環器疾患を抱える患者さんが、退院後も地域で安心して生活をするためには、病院と地域をつなぐ在宅医療が欠かせないことを強く実感しました。その経験を生まれ育った愛媛県松山市で生かしたいという思いから、当院を開院いたしました。患者さんやご家族とこれからの暮らしについて一緒に考え、地域の医療機関や介護・福祉職の皆さまと連携しながら、地域全体で支える医療を実践していきたいと考えています。在宅医療をご検討中の患者さんやご家族、医療・介護関係者の皆さまも、ご不安なことやご相談がございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。（紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。）

